

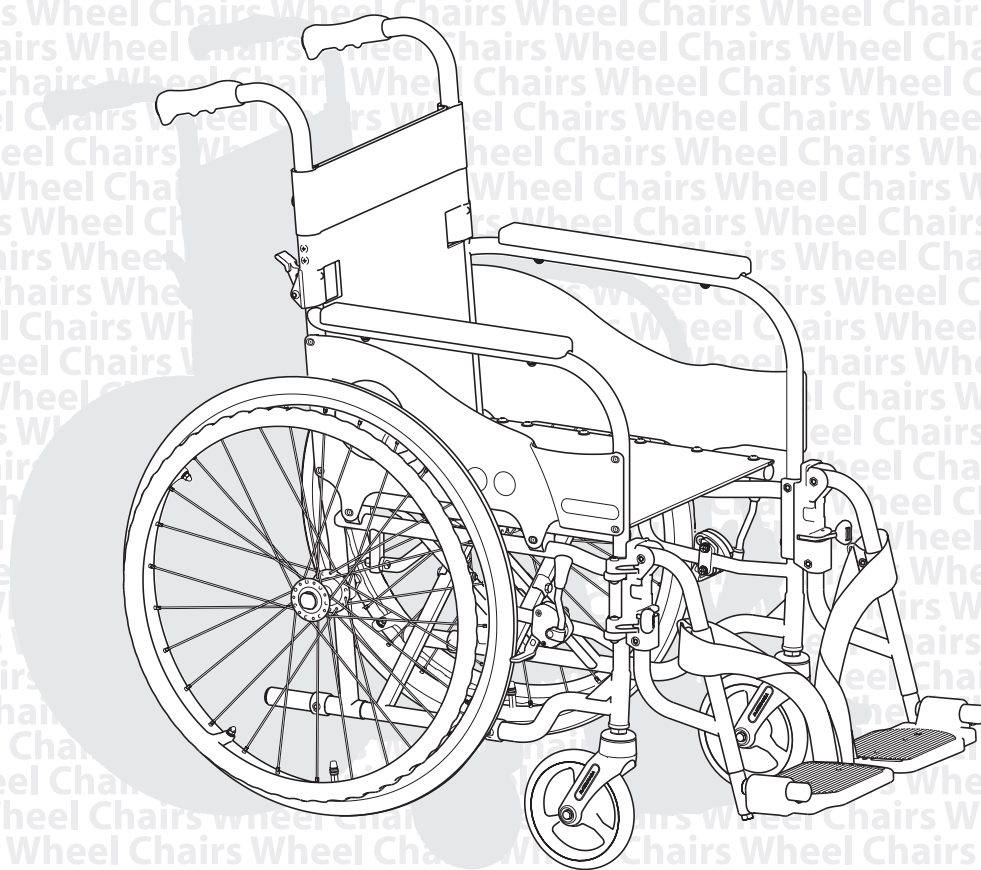
マツナガのスリムな車いす

アルミSAシリーズ

取扱説明書

保存用

保証書付



点検 記録表付



MATSUNAGA

このたびは、(株)松永製作所の車いすをお買い上げいただき、ありがとうございます。

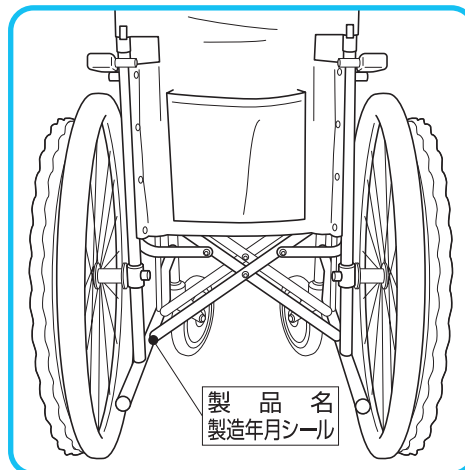
この取扱説明書には、お客様に安全に正しくご使用していただくために必要な注意事項や正しい使い方が説明されています。ご使用になる前には、必ずお読みください。

また、**保証書(表紙裏)**が付いておりますので紛失しないように大切に保管してください。

安全にご使用していただくために、点検・記録表が付いておりますので、ご自身・お買い求めの販売店(有料)等で定期的に点検をしていただくようお願いいたします。

車いすが、使用者の身体に合わない状態で使用しないでください。
健康をそこなう恐れがあります。そのような場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

購入された製品の機種名をご確認ください。機種名は、右記位置に表示してあります。
次に4~5ページの各機種別寸法・機能一覧をご確認ください。

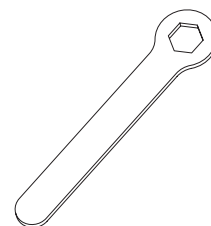


- お買い上げの製品は、改良などにより、この「取扱説明書」の内容と一部異なる場合があります。
- ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店または、直接弊社までお問い合わせください。

付属品



取扱説明書



13mmスパナ

目次

安全にお使いになるためのご注意	2
機種別寸法一覧	4
各部の名称	4
機種別機能一覧	5
機能説明	5
広げ方・折りたたみ方	6
広げ方	6
折りたたみ方	7
安全にお使いになるための使用方法	8
駐车用ブレーキ	8
フットサポートの調整	8
スイングアウト	9
使用方法	10
乗り方・降り方	10
動かし方	11
介助の仕方	12
外出時の注意	13
ご使用の前に	14
オプション	15
もしこんなトラブルが発生したときは	16
お手入れの方法	16
保管場所・保証・アフターサービス	17
JIS規格について	18
車いす点検シート	20

安全にお使いになるためのご注意



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることおよび物的損害の発生する可能性が想定されることを示しています。

お守りいただく内容の説明



この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。



この表示は、必ずしていただく「**強制**」内容です。

警告

(禁止)



しては
いけない

- 故障、異常のあるときは、直ちに使用を中止してください。
ケガ、事故等の原因となります。
- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動き、事故等の原因となります。
- フットサポートの上に乗って、乗り込んだり、降りるとき上に立ち上がらないでください。
車いすがバランスを崩し、転倒事故等の原因となります。
- 改造しないでください。
改造により車いすの部品の破損、脱落などで安全性が低下し、転倒・転落事故等の原因となります。
- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。
転倒・転落事故等によるケガの原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

- 車いすに乗り降りする際や、ベッドへの移乗時には、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。
車いすが動き、転倒・転落事故等の原因となります。
- バックサポート折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音がして、完全に出ているのを確認してください。
転倒・転落事故等の原因となります。
- 坂道の登り下りの時は、介助者の方が支えて行ってください。
スピードが出たり、バランスが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。
- 道路の通行は、右側を通行してください。(歩道がある場合は歩道を通行してください。)
交通法規を守って走行してください。(車いすは歩行者扱いです。)
- 側溝の格子蓋や踏切などでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただいでください。
車輪が溝にはまり転倒・転落事故等の原因となります。

⚠ 注意

(禁止)



しては
いけない

- バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。
車いすが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。
- 車いすを払げる時に、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。
パイプに手や指を挟んでケガをします。
- レッグサポートを外して使用しないでください。
足が後方に落ち、地面やキャストと接触してケガ等の原因となります。
- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。
摩擦で、手にケガをする恐れがあります。
- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。
手や指をはさんで、ケガをする原因となります。
- タイヤを持って車いすを操作しないでください。
ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。
- バックしながら、急停止しないでください。
転倒・転落事故等の原因となります。
- 火気の近くに置かないでください。
タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。
- バックサポートパイプのみで、キャストを上げないでください。
バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒・転落事故等の原因となります。
- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。
転倒・転落事故等の原因となります。
- 使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。
パイプが外れたりして、転倒・転落事故等の原因となります。
- 走行中、身体を乗り出さないでください。
バランスが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。

(強制)



必ずして
いただく

- 車いすを払げた時、座パイプが受けに収まっているか、確認して座ってください。
パイプが曲がったりして、転落事故及び故障の原因になります。
- スイングアウトを戻したときは、ロックが確実にされているか確認してください。
足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。
- 安全ベルト装着機種は、必ず安全ベルトを締めてください。
衝撃などで転倒・転落事故等の原因となります。
- 安全ベルトのマジック式は、糸くずや汚れを取り除いてください。
粘着力が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転落事故等の原因となります。
- フットサポートが固定されているか、確認してから使用してください。
フットサポートが脱落し事故の原因になります。
- フットサポートの高さは地面より5cm以上でご使用ください。
路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っかかり、急に車いすが止まり、転倒事故等の原因になります。
- 乗り降り、駐車は平坦な場所で行ってください。
車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。
- 坂道を下るとき介助者は、下り坂の下側に立ち、確認しながら後ろ向きにゆっくりと走行してください。
前向きで下ると、乗っている人がずり落ちたり、前のめりとなり、転落・転倒事故等の原因となります。
- 側溝の格子蓋、踏切のレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。
車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転倒・転落事故等の原因となります。
このような、環境条件でご使用される場合は、ワイドキャスト(オプション)をご使用ください。

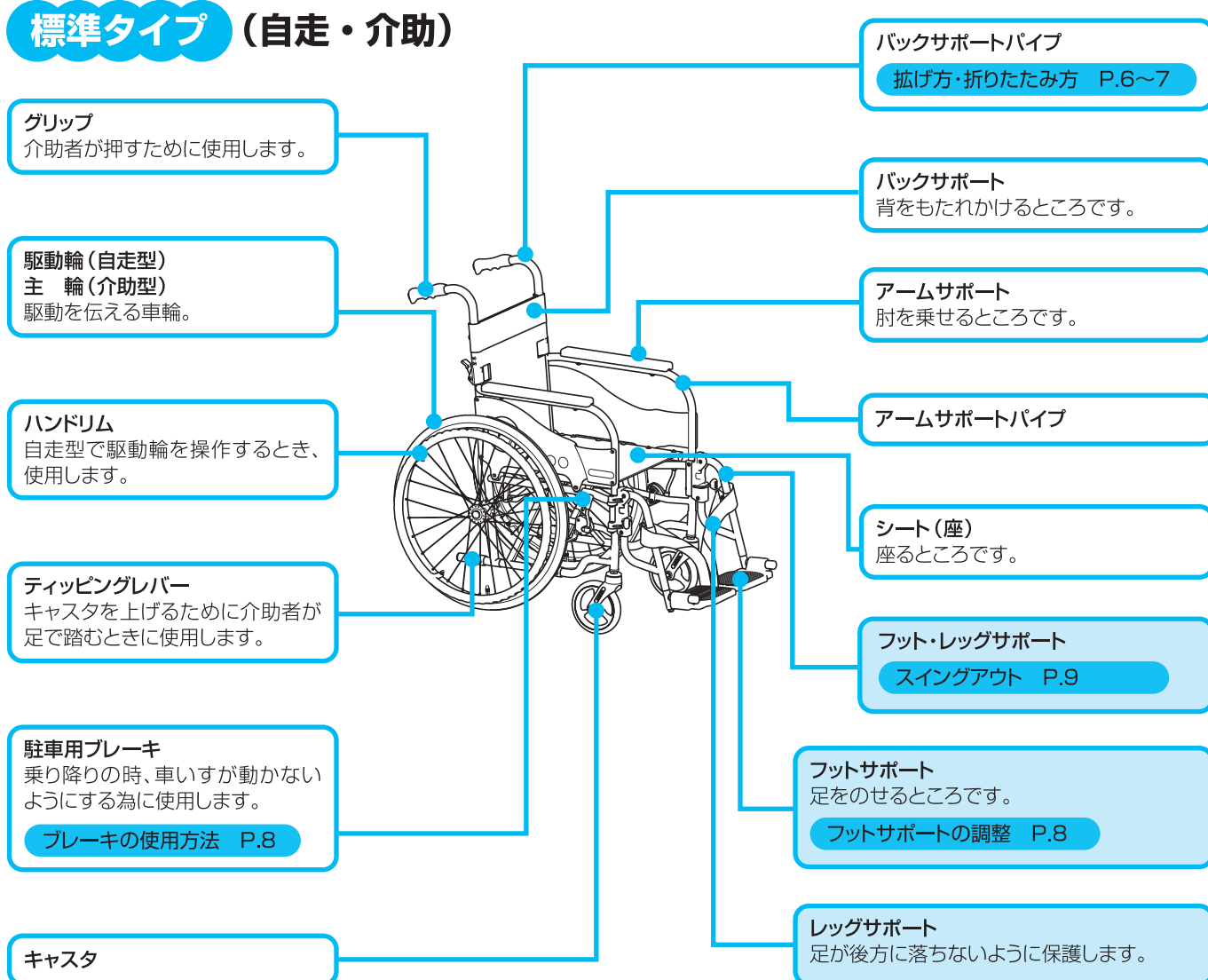
機種別寸法一覧

機種	キャスト [インチ]	大車輪 [インチ]	前座高 [mm]	後座高 [mm]	全長 [mm]	全高 [mm]	全幅 [mm]	折畳み幅 [mm]	重量 (kg)
SA-101	6	22	430	410	1000	900	560	330	12.7
SA-111	6	22	390	370	1000	860	560	330	12.7
SA-201	6	12	430	410	1000	900	500	255	11.3
SA-211	6	12	390	370	1000	860	500	255	11.3

※全幅、重量ともに座幅380mm時の数値です。

各部の名称

標準タイプ (自走・介助)

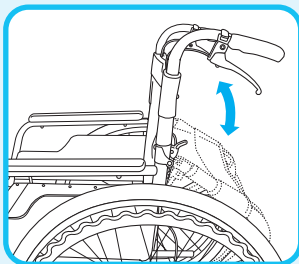


機種別機能一覧

機種	タイプ	バックサポート	フット・レッグサポート	ブレーキ
			機能	駐車用
SA-101	自走	折りたたみ	スイングアウト	ミニタックル
SA-111	自走	折りたたみ	スイングアウト	ミニタックル
SA-201	介助	折りたたみ	スイングアウト	ミニタックル
SA-211	介助	折りたたみ	スイングアウト	ミニタックル

機能説明

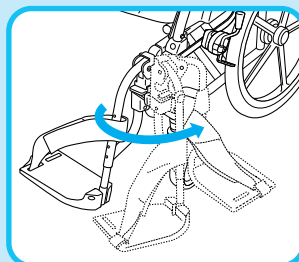
〈バックサポート〉



折りたたみ

バックサポートを折りたたむことができ、自動車等への積み込みが容易に行えます。

〈フット・レッグサポート〉

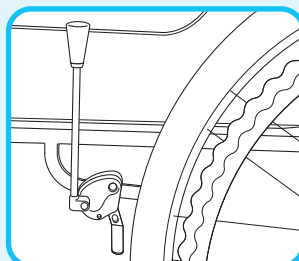


スイングアウト

フット・レッグサポート部が簡単な操作で開閉でき着脱可能です。ベッド、便器等への接近が容易です。片手片足操作にも適しています。

〈ブレーキ〉

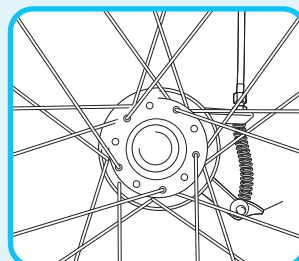
駐車用ブレーキ (ミニタックル)



乗り降りの際に車いすが動かないようにするために使用します。

(オプション)

制動用ブレーキ (ドラムブレーキ)



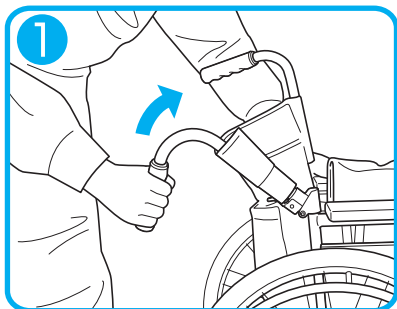
介助用のブレーキです。走行中や坂道で速度を調整する際に使用します。

拡げ方・折りたたみ方

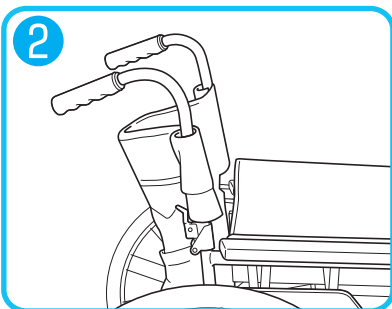
拡げ方

*バックサポートの折りたたみを起こす時は、車いすを折りたたんだ状態で行ってください。
(拡げた状態で行くと、バックサポートがバックサポートパイプに引っ張られ、ロック出来なくなります。)

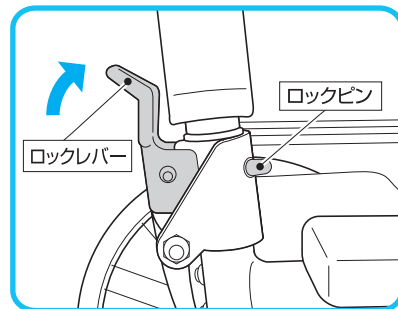
① グリップを持ち、矢印方向に、持ち上げる。



② バックサポートを両側起こす。



レバーを矢印方向に起こす。



警告

●バックサポート折りたたみのロックピンが、「カチッ」と音がして、完全に出ているのを確認してください。
(転倒・転落事故等の原因となります。)

していただく

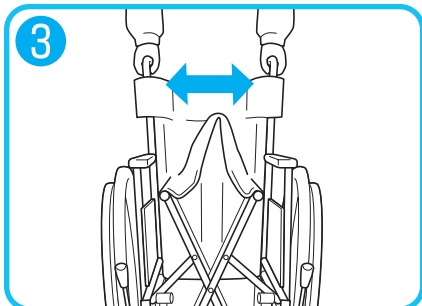


注意

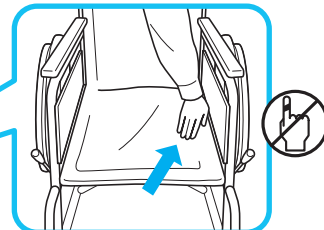
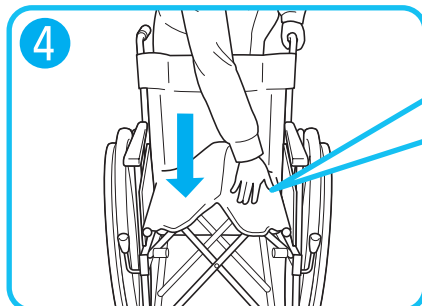
●バックサポートに重いものを引っ掛けないでください。
(車いすが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。)

してはいけない

③ 車いすの後方に立ち、左右のグリップを持って両側に拡げます。



④ 片側のグリップを手で持ち、シートを手で下に押し下げると、シートが拡がります。



※手・指に注意



注意

●車いすを拡げる時に、座パイプの横や下に、手や指を入れないでください。
(パイプに手や指を挟んでケガをします。)

してはいけない



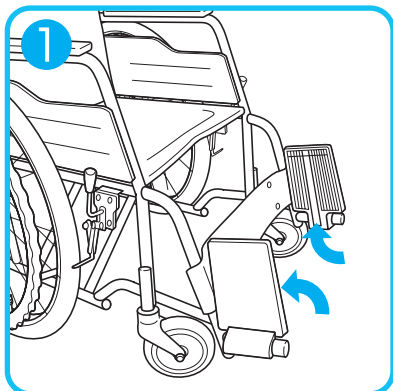
注意

●車いすを拡げた時、座パイプが受けに収まっているか、確認して座ってください。
(パイプが曲がったりして、転落事故及び故障の原因になります。)

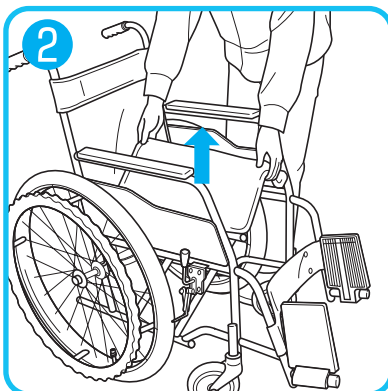
していただく

折りたたみ方

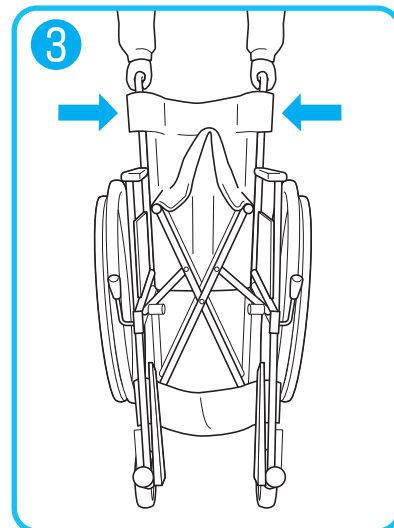
- ① フットサポートを矢印方向に回転させて上げる。



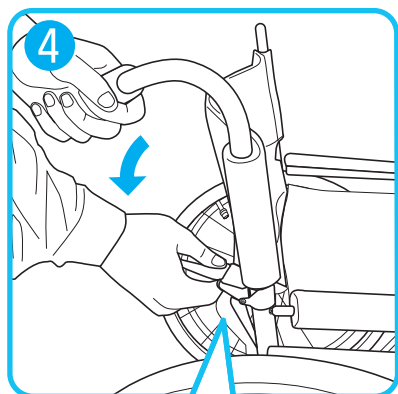
- ② シートの前方と後方の中央を同時に持ち上げる。



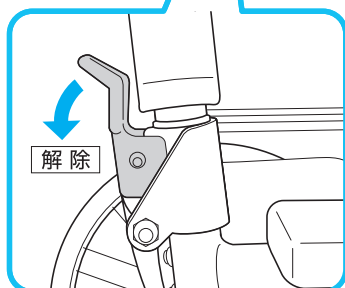
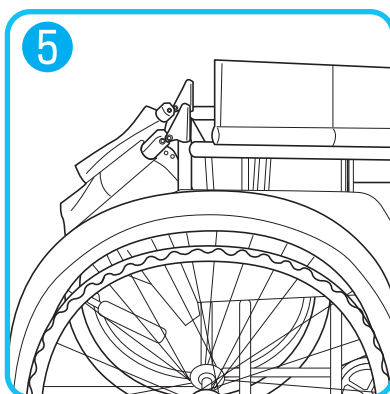
- ③ 左右のグリップを持ち内側にたたむ。



- ④ グリップを片手で持ち、レバーを後方に倒し、バックサポートを倒す。



- ⑤ バックサポートを両側後方に倒す。

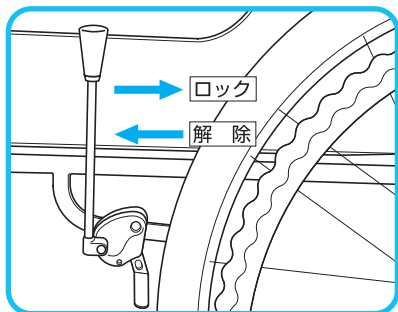


安全にお使いになるための使用方法

駐車用ブレーキ

- 駐車用ブレーキレバーを後方に引くとロックします。
- ロックした方向と反対に戻すと解除します。

ミニタックル



警告

- タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。
(P.14 ご使用の前に参照)
(駐車用ブレーキのロックが効かなくなり、車いすが動き、事故等の原因となります。)

してはいけな

警告

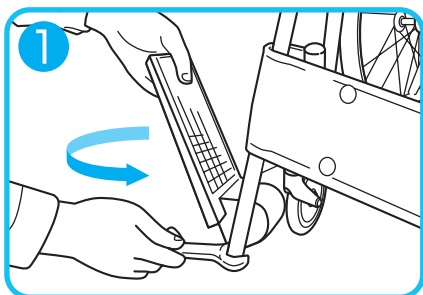
- 車いすに乗り降りする際や、ベッドへの移乗時には、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。
(車いすが動き、転倒・転落事故等の原因となります。)

していただく

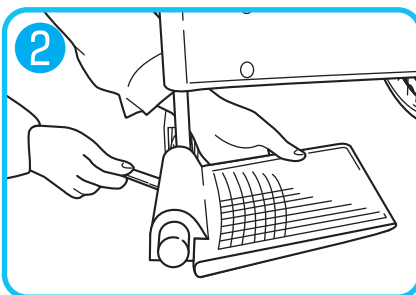
フットサポートの調整

- お買い上げ時(梱包時)にはフットサポートが収納されていますので、使用する前に、前方に出してください。

- 1 フットサポートを付属品のスパナにて、先端ボルトを少し動くところまで緩める。

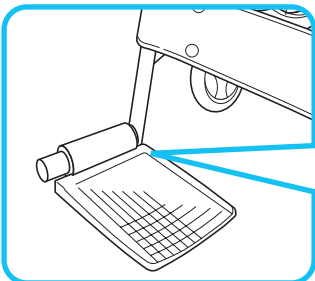


- 2 フットサポートを回転し、高さ調整を行い先端ボルトを締める。

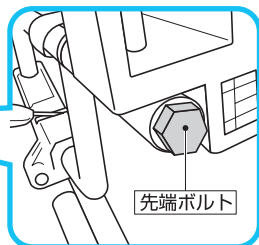


〈高さ調整〉

フットサポートを少し上げ、付属品のスパナで先端ボルトを少し動くところまで緩める。

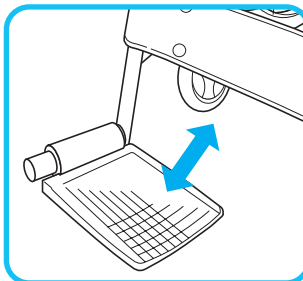


フットサポート
裏側から見た図



先端ボルト

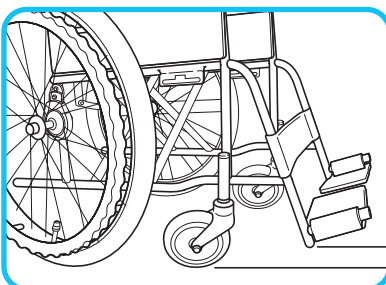
高さを調整し、先端ボルトを締める。



注意

- フットサポートが固定されているか、確認してから使用してください。
(フットサポートが脱落し事故の原因になります。)

していただく



注意

- フットサポートの高さは地面より5cm以上でご使用ください。
(路面の凹凸や障害物にフットサポートが引っかかり急に車いすが止まり、転倒事故等の原因になります。)

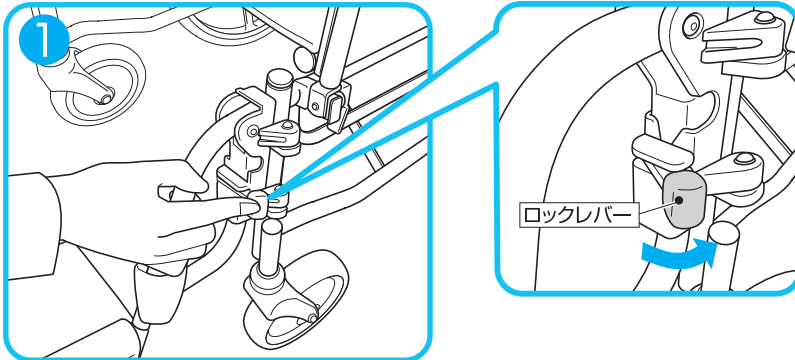
していただく

↑ 5cm以上

スイングアウト

- フット・レッグサポートをスイングアウト(外開き)したり、取り外すことによりトイレ・ベッド等への乗り移りがしやすくなります。
介助の場合には、足元が広くなり、移乗動作が楽に行えます。
また片足こぎ操作する時には、取り外すことにより足元が広がります。

①ロックレバーを押し、ロックを解除します。

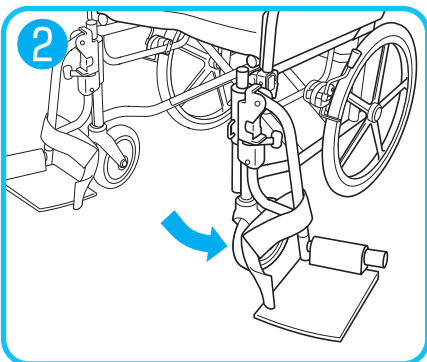


⚠ 注意

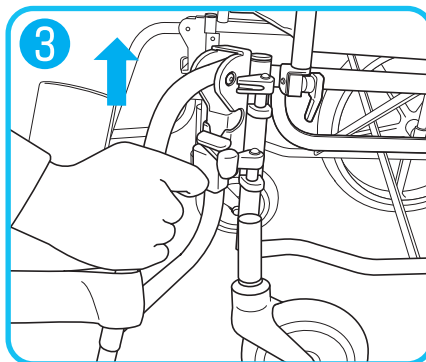
- スイングアウトを戻したときは、ロックが確実にされているか確認してください。
(足を乗せたとき、外れて足をケガする原因となります。)

していただく

②レッグサポートを開くように外側に回転させます。



③レッグサポートを取り外すときは、外側に回転した状態から上に持ち上げてください。



⚠ 注意

- スイングアウトや着脱・取り付け操作時に、手を挟まないように注意してください。

していただく

⚠ 注意

- レッグサポートを外して使用しないでください。
(足が後方に落ち、地面やキャストと接触してケガ等の原因となります。)

してはいけない

使用方法

乗り方・降り方



警告

●車いすに乗る前や、ベッドへの移乗時には、必ず駐車用ブレーキをロックしてください。
(車いすが動き、転倒事故等の原因となります。)

していただく



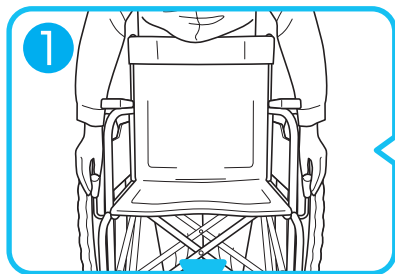
注意

●車いすに乗るときは、路面の平坦な場所で行ってください。
(車いすが動き、バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。)

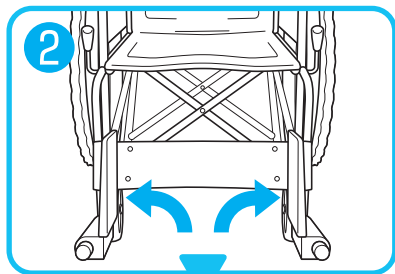
していただく

乗る時

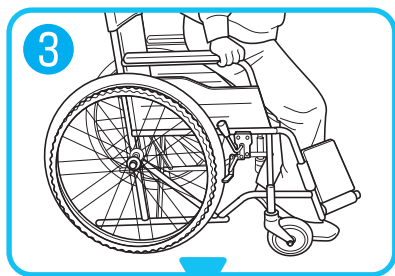
① 駐車用ブレーキを両側ロックする。



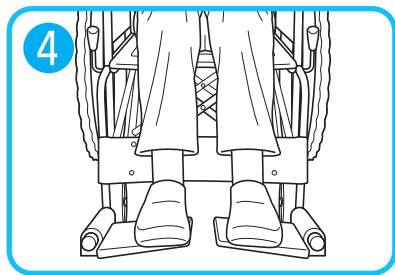
② フットサポートを両側上げる。



③ 両手でアームサポートを持ち ゆっくり座り込む。

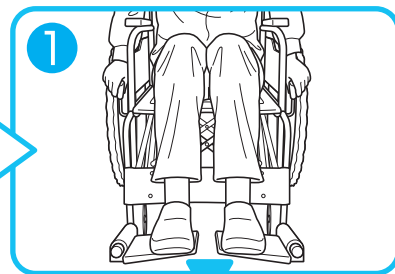


④ フットサポートに足を乗せる。

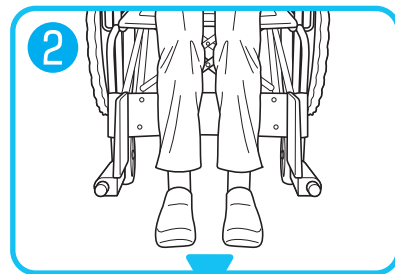


降りる時

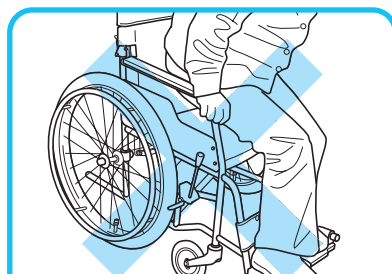
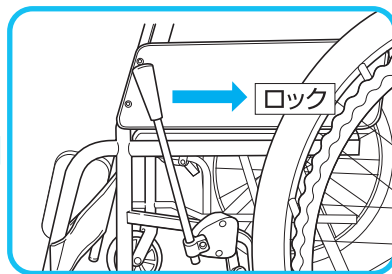
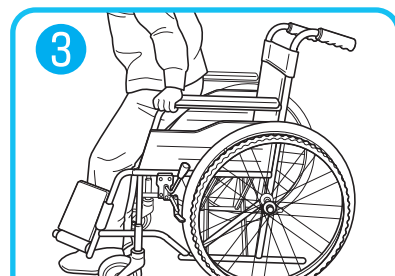
① 駐車用ブレーキを両側ロックする。



② フットサポートを上げ、足を下ろす。



③ 両手でアームサポートを持ち ゆっくり立ち上がる。



警告

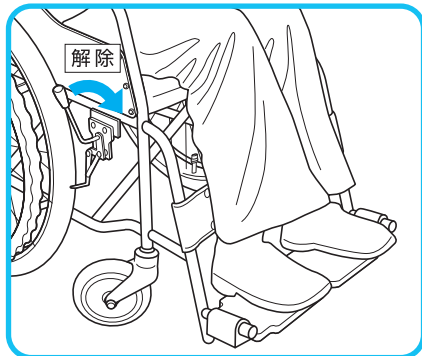
●フットサポートの上に乗らないでください。
(車いすがバランスを崩し、転倒事故等の原因となります。)

してはいけない

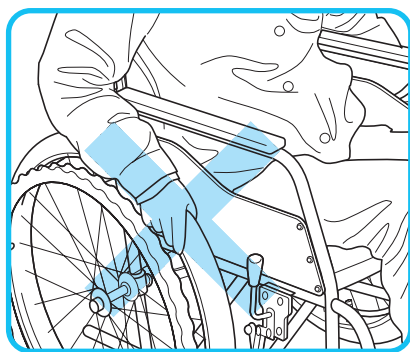
動かし方

(自走用車いすの場合)

駐車用ブレーキのロックを解除する。



ハンドリムを握り車輪を回転させ移動させる。



⚠ 注意

- タイヤを持って車いすを操作しないでください。(駐車用ブレーキに手があたり、ケガをする原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

- スピードが出ている状態で、素手でハンドリムを持って減速しないでください。(摩擦で、手にケガをする恐れがあります。)

してはいけない

※そのようなご使用をされる場合は、車いす用手袋〈別売〉をご使用ください。

⚠ 注意

- 走行中、身体を乗り出さないでください。(バランスが不安定になり、転倒・転落事故等の原因となります。)

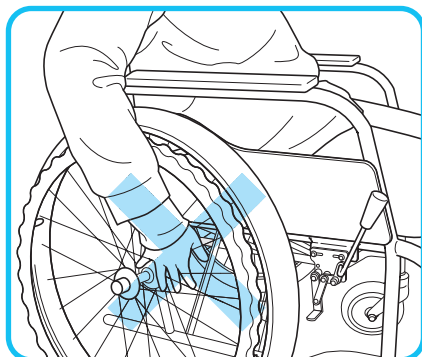
してはいけない

⚠ 注意

- 車輪が回転しているときは、スポークに手や指を差し込まないでください。(手や指をはさんで、ケガをする原因となります。)

してはいけない

※このような場合にはオプションのスポークカバーの使用をおすすめします。



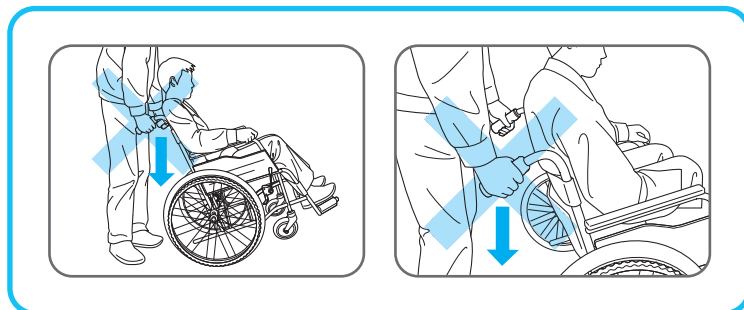
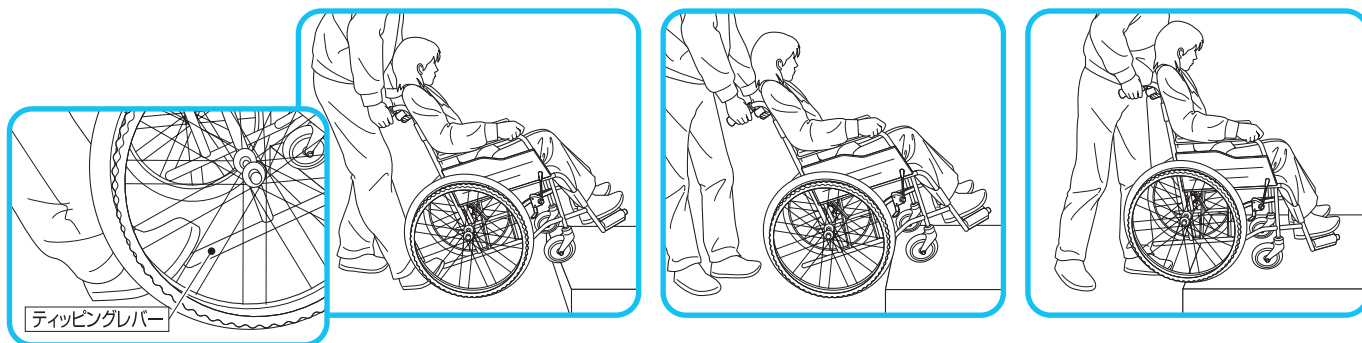
介助の仕方

次のような使用場所や環境では、危険が伴う場合がありますので、必ず介助者の方が付き添ってください。

- ・坂道の登り下り
- ・踏切の横断
- ・側溝の格子蓋の横断
- ・悪路
- ・電車への乗車、下車
- ・段差乗り越え
- ・路面が片側に傾斜しているところの走行

介助者援助をお願いしてください。

介助者は、段差を乗り越える場合は、ティッピングレバーを踏んでキャスト(前輪)を上げ、段差に乗せてから、後輪を浮かし乗り越えてください。



⚠ 注意

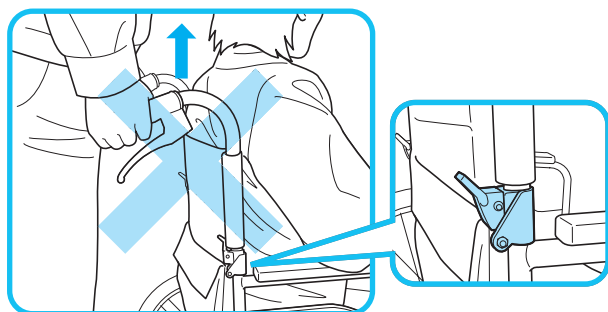
- バックサポートパイプのみで、キャストを上げないでください。
(バックサポートパイプが曲がったり、折れたりして、転倒・転落事故等の原因となります。)

してはいけない

⚠ 注意

- スピードをつけて、段差を乗り越えようとししないでください。
(転倒・転落事故等の原因となります。)

してはいけない



⚠ 注意

- 使用者が車いすに乗っている状態でグリップを持って吊り上げないでください。
(パイプが、外れたりして、転倒・転落事故等の原因となります。)

してはいけない

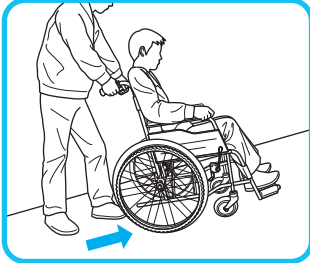
車いすを持ち上げる場合、次のような箇所は持たないでください。

- ・バックサポートパイプ部
- ・フット・レッグサポート部

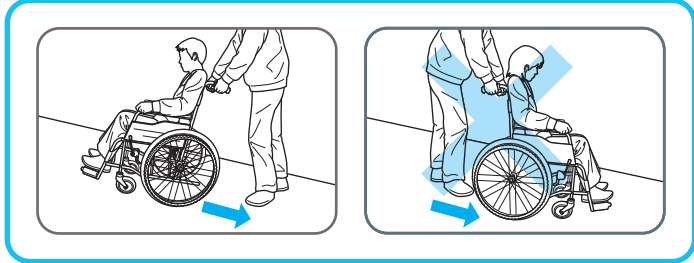
外出時の注意

坂道の登り下りでご使用される場合は、必ず介助者の方に支えていただけてください。

登り坂



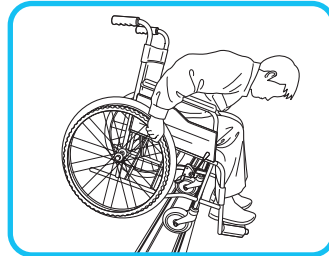
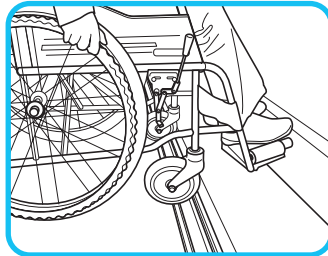
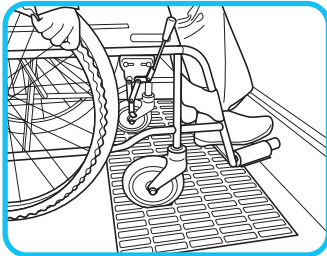
下り坂



⚠ 注意

- 坂道を下るとき介助者は、下り坂の下側に立ち、確認しながら後ろ向きにゆっくりと走行してください。（前向きで下ると、乗っている人がすり落ちたり、前のめりとなり、転落・転倒事故等の原因となります。）

していただく



⚠ 警告

- 側溝の格子蓋や踏切などでご使用される場合は、必ず介助者の方に援助をお願いしてください。（車輪が溝にはまって転倒・転落事故等の原因となります。）

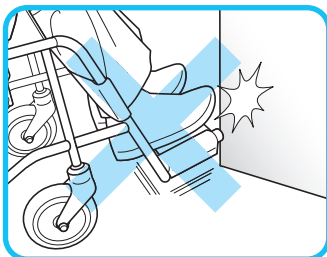
していただく

⚠ 注意

- 側溝の格子蓋、踏切のレール溝にキャストが落ち込まないように注意してください。（車いすが急に止まり使用者の体が前方に傾き、転倒・転落事故等の原因となります。このような環境条件でご使用される場合は、ワイドキャスト（オプション）をご使用ください。）

していただく

【介助者の方へ】



⚠ 注意

- 移動中、つま先が障害物に当たらないように、確認して走行してください。

していただく

⚠ 注意

- フットサポートに、足が乗っているか確認して走行してください。

していただく

⚠ 注意

- 車いすを、横向きに倒して上に物を置かないでください。（重みで車輪・フレームが曲がり、故障の原因となります。）

してはいけない

- 階段などで、使用者が乗ったままの状態、介助者に吊り上げてもらう場合
ベースパイプ・バックサポートパイプの固定されている箇所を持って、
4～5人で支えてもらってください。



ご使用前に

■ご使用前に、安全にご使用していただく為、次の確認をお願いします。

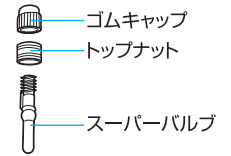
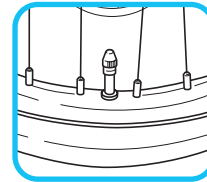
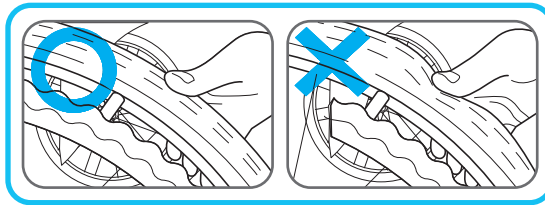
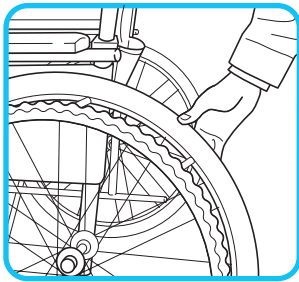
- ・タイヤの摩耗・亀裂はないか。
- ・タイヤの空気圧は、適正か。
- ・駐車用ブレーキに異常はないか。
- ・駐車用ブレーキをロックした時、駆動輪・主輪が回転しないか。

タイヤを親指で押し、容易にへこむ場合は、エアを自転車用空気入れで補充してください。

最適空気圧:自走22インチ……700kPa
介助12インチ……350kPa

タイヤの空気バルブのネジが緩んでいないか確認してください。

タイヤの空気がすぐに抜けるときは、スーパーバルブを交換してください。

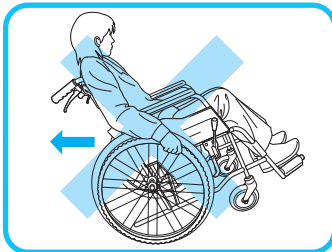


警告

●タイヤの空気圧が少ない状態で、使用しないでください。

(駐車用ブレーキのロックが出来なくなり、車いすが動き、事故等の原因となります。また、タイヤのパンクの原因となります。)

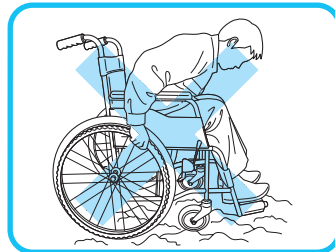
してはいけない



注意

- バックしながら急停止しないでください。
(転倒・転落事故等の原因となります。)

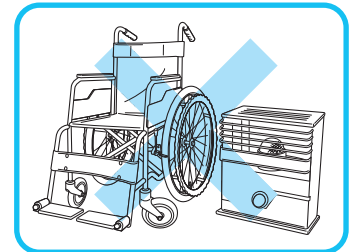
してはいけない



注意

- 凹凸のある路面では、前かがみ姿勢で使用しないでください。
(バランスを崩し、転倒・転落事故等の原因となります。)

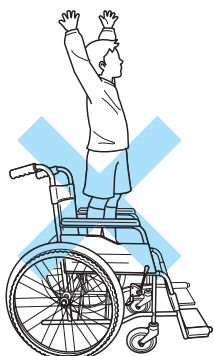
してはいけない



注意

- 火気の近くに置かないでください。
(タイヤがパンクしたり、シートが燃え火災の原因となります。)

してはいけない



警告

- 車いすのシートの上で立ち上がらないでください。
(転倒・転落事故等の原因となります。)

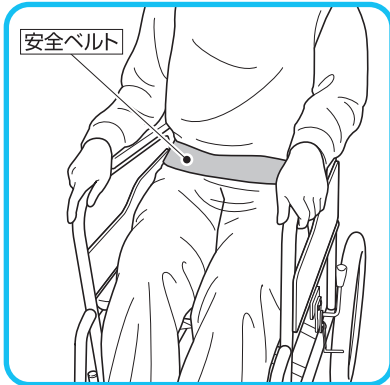
してはいけない

オプション

車いすをより使いやすくするために、いろいろなオプションを用意してあります。
(車いすにより取り付けできない場合がございます。販売店、または弊社までご相談ください。)

安全ベルト

●使用者が、車いすから転落したり、ずり落ちるのを保護します。



⚠ 注意

●安全ベルト装着機種は、必ず安全ベルトを締めてください。
(衝撃などで転倒・転落事故等の原因となります。)

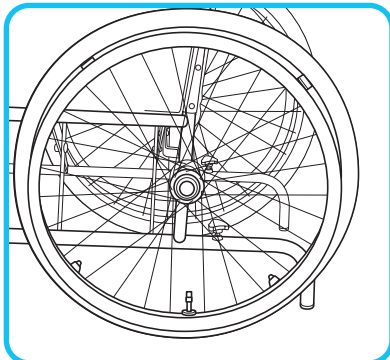
していただく

⚠ 注意

●マジック式安全ベルトの場合は、糸くずや汚れを取り除いてください。
(粘着性が弱くなり、衝撃を受けた時外れ、転落事故等の原因となります。)

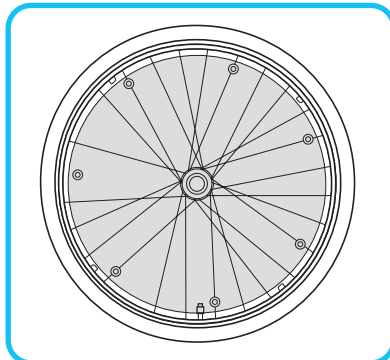
していただく

転倒防止バー



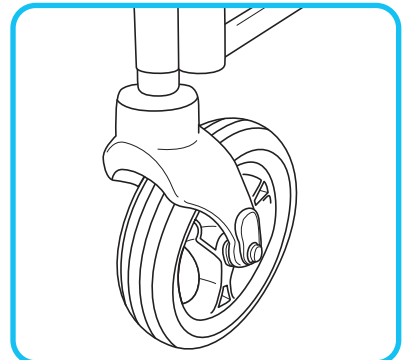
車いすが後方へ倒れるのを防止します。

スポークカバー



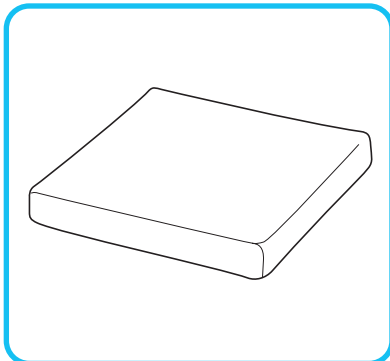
車輪(スポーク)に手を入れケガをする事を防止します。

ワイドキャスト



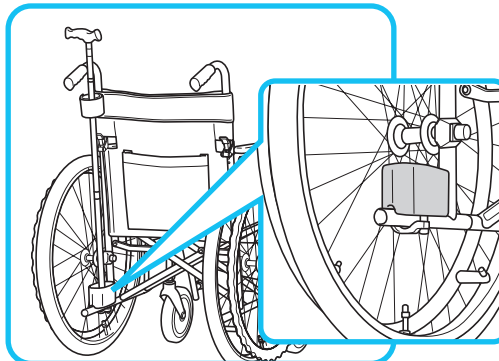
タイヤ幅を広くし、溝などへ落ちにくくします。

クッション



体重の圧力を分散し、快適に座ることができます。
(いろいろな種類があります。)

杖入れ



車いす後方に、杖を収納することができます。

その他にも

- テーブル
 - ガートル架
 - ボンベ架
 - 泥よけ
- などご用意しております。

詳しくは、カタログをご覧ください。

もしこんなトラブルが発生したときは

車いすをご使用されていて故障かなど、思うトラブルが発生したら、修理を依頼するまえに下記項目を確認してください。

トラブル	確認点	対処
タイヤの空気が少ない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
空気を入れてもすぐに抜ける	・タイヤの空気入れ部のネジは、しっかり締まっていますか	しっかり締め直してください
	・スーパーバルブが劣化していませんか	スーパーバルブを交換してください
走行操作が重い	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・駆動輪・キャストに毛髪、ビニール等が巻きついていませんか	取り除いてください
真っ直ぐ走らない	・キャスト(前輪)が片べりしていませんか	取扱店にご連絡してください
バックサポート折りたたみのロックピンが入らない	・車いすを上げて、バックサポートを折りたたみしていませんか	車いすを折りたたんで、行ってください
ブレーキが効かない	・タイヤの空気圧は適正ですか	空気を入れてください
	・タイヤは摩耗していませんか	取扱店にご連絡してください

■トラブルがある際は、直ちに使用を中止してください。

お手入れの方法

■清掃は、水につけたタオルを強くしぼり、泥やホコリを拭き取った後に乾いた布で仕上げ拭きをしてください。

揮発性剤（シンナー・ベンジン・アルコール類）では、清掃しないでください。

変色したり、劣化の原因となります。

ホースなどで、直接水をかけないでください。車輪及びフレーム内部・ブレーキ部に水滴が残り、錆の原因となります。

■タイヤの空気圧、最適空気圧：自走22インチ……700kPa 介助12インチ……350kPaを適正に保ってください。

空気圧が少ないときは、補充してください。

■タイヤには、ひび割れを防ぐ為に老化防止剤が配合されていますので、次のような環境及び薬剤はさけてください。タイヤの劣化を促進させ、ひび割れの発生原因となります。

- オゾン (O₃)
- 光線(長時間直射日光に当てることは避けてください)、熱・伸張等の機械的作用。
- 銅・マンガンのような金属の塩、石鹼などの容易に酸化される物質。
- シリコン系ワックス(自動車タイヤ用ツヤ出し剤、潤滑剤、錆落とし含む)。

■車いすに異常がある場合は、取扱店で、点検・修理をおこなってください。

そのままの状態で使用されますと、使用中に破損し、事故の原因となります。

- タイヤの劣化・ひび割れ・空気漏れ
- 各部固定部品の変形
- ボルト・ナット・ビスの緩み
- フレームのひび割れ・曲がり・ガタつき
- 駆動輪・キャストの変形
- 制動用ブレーキ・駐車用ブレーキの効き具合

保管場所

次のようなところでは、保管しないでください。
故障の原因となります。

- 雨に濡れるようなところ
- 直射日光が当たるようなところ
- 湿気の多いところ
- 高温室になるようなところ
- 炎天下なところ

保証

- 保証期間は、お買上げ後1カ年です。(本体、付属品共)
ただし、次の場合は、保証期間中でも有償修理とさせていただきます。
 1. 火災、天災による故障・損傷の場合
 2. 取扱説明書に記載の使用方法、ご注意に反するお取扱いによって発生した故障の場合
 3. 無断仕様変更及び、改造による故障の場合
 4. タイヤの摩耗、パンク、シートのやぶれ、ブレーキ、ブレーキゴム等の消耗品、及び各部の劣化による故障、損傷の場合
 5. 修理に要した運賃等の諸経費
- 保証書は、日本国内のみ有効です。

アフターサービス

万一故障の場合は、お買上げいただきました販売店、または松永製作所へ保証書ご持参の上、修理をお申しつけください。

■お問い合わせ



株式会社 松永製作所

〒503-1272 岐阜県養老郡養老町大場484
TEL0584-35-1180(代) FAX0584-35-1270
URL <http://www.matsunaga-w.co.jp>

JIS規格について

参考のため抜粋、整理して記載しているものです。

詳細な内容や正確さを必要とする場合には必ず、JIS T 9201最新版 本文をご参照ください。

日本工業規格 JIS T 9201:2006「手動車いす」により、自走用標準形車いす及び介助用標準形車いす
が規定されています。

この取扱説明書の用語、寸法などはこのJIS規格に基づいています。(一部、従来を表記も併用しています)
用語・寸法の定義は以下のようになっています。

車いすの種類について

自走用標準形：一般的に用いる自走用車いすで、後輪にハンドリムを装備し、バックサポートの種類は固定式、着脱式、折りたたみ式及びそれらと同等の方式であり、特別な座位保持具はつかず、任意にバックサポート角度が変えられないもので、前輪はキャスタ、後輪は大径車輪(*)の4輪で構成したもの。日常生活用で特殊な使用目的のものは除く。また、モジュラー式車いすを含み、各部の調節、脱着及びフレームの折りたたみ方式は限定しない。

介助用標準形：一般的に用いる介助用車いすで、特別な座位保持具やハンドリムはなく、バックサポートの種類は固定式、着脱式、折りたたみ式及びそれらと同等の方式であり、任意にバックサポート角度が変えられないもので、前輪はキャスタ、後輪は中径車輪(*)以上で構成したもの。シートベルトを装備しているものもある

注(*) 車輪の大きさで“小径車輪”は呼び12未満、“中径車輪”は呼び12以上18未満及び“大径車輪”は呼び18以上を指す。

各部の名称について

用語	意味
シート	座【でん部・大たい(腿)部の支持装置】
バックサポート(バックレスト)	背の支持装置
フット・レッグサポート (レッグサポート)	下たい(腿)・足部の支持装置
フットサポート(フットレスト)	足部の支持装置
レッグサポート(レッグレスト)	下腿の支持装置
アームサポート(アームレスト)	腕の支持装置
車輪	車いすを構成する車輪で、駆動輪、主輪、キャスタ及び補助輪がある
駆動輪	自走用車いすの駆動用車輪
主輪	介助用車いすの主車輪
キャスタ	自由に方向が変わる車輪付き装置
ハンドリム	駆動輪に取り付けられ、手で操作して駆動輪を回転させるための金属又は合成樹脂製の輪
ブレーキ	車いすを停止又は制動するための装置
駐車用ブレーキ	車いすを停止させておくためのブレーキ
制動用ブレーキ	車いすを制動するためのブレーキ
手押しハンドル(グリップ)	介助者が車いすを後方から押すときなどに使う取っ手
グリップ	手押しハンドルの握り
ティッピングレバー	介助者が車いすの前輪上げをするときに踏むためのレバー又はプレート

寸法について

用語	定義
寸法基準点	車いす寸法の基準となる点で、バックサポート取付けフレーム前面とシート取付けフレーム上面との交点。
駆動輪(主輪)径	駆動輪又は主輪の最大直径(呼びでもよい)。
キャスト径	キャスト輪の最大直径(呼びでもよい)。
前座高	床からシート取付けフレーム上におけるシート前端上面までの垂直距離。
後座高	床から寸法基準点までの垂直距離。
シート奥行	寸法基準点からシート取付けフレーム上におけるシート先端までの距離。
シート幅	使用時におけるシートの有効幅 (サイドガードの内寸法,シートサイドパイプ内寸法,シートの最大幅など)。
バックサポート高	寸法基準点からバックサポート取付けフレーム上におけるバックサポート上端までの距離。
フットサポート・シート間距離	フットサポート外側上面からシート取付けフレーム上におけるシート前端上面までの距離。
アームサポート高	寸法基準点からアームサポート上端面までの垂直距離。
全高	使用時における車いすの床から最高点までの垂直距離。
全幅	使用時における車いすの左右外側の最大寸法。
全長	使用時における車いすの前後方向の最大寸法。
折りたたみ全幅	折りたたみ時における車いすの左右外側の最大寸法。

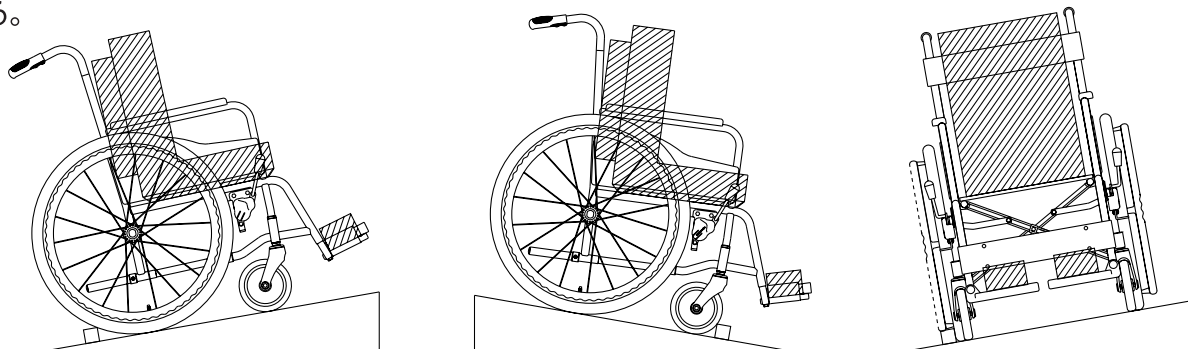
静的安定性の試験方法について

JIS T 9201:2006 10.1.2 静的安定性試験はa)の方法により行っております。

(参考として、a)の方法は以下のようになっております)

下図のように車いすにダミーを載せ、走行路の傾斜角を10度にした場合に、駐車用のブレーキを外した状態で車いすの山側車輪が傾斜台との接地面から離れるかどうかを調べる。この試験は、傾斜台に対して車いすを上向き、下向き及び左右横向きに置いて行う。

なお、試験に供する車いすのキャストは、トレーリングポジションとし、すべりを防ぐための高さ40mmのガイドを使用する。



ねじの種類について

各部には一般用メートルねじを使用しておりますが、次の部分には他の種類のねじを使用しております。

- ・シートビス……………タッピンネジ
- ・ミニタックルカバー部……………タッピンネジ
- ・主軸(駆動輪・主輪)部……………ユニファイネジ(UNF1/2)

車いす 点検シート

安全にご使用していただくために、ご自身・お買い求めの販売店（有料）で定期的に点検をしていただくようお願いします。

（長期間ご使用にならなかった場合は、ご使用前に点検をしてください）

点検の結果、異常があった場合はご使用にならず、調整・部品交換をしてからご使用ください。

点検項目		年月日				
		点検者				
キャスタ（前輪）	亀裂・キズの有無					
	キャスタの摩耗					
	スムーズな回転					
フォーク	損傷の有無					
	スムーズな旋回					
後輪	タイヤの空気圧					
	タイヤの摩耗					
	スムーズな回転					
	ホイールのキズの有無					
	スポークの緩み（自走のみ）					
フレーム	各部キズの有無					
	ボルト・ナットの緩み					
	スムーズな折畳み					
ブレーキ	ブレーキの利き					
シート	シートの破れ・損傷					
	シート固定ネジの緩み					
フットサポート	固定ボルトの緩み					
	プレートの破損					
アームサポート	固定ボルトの緩み					
	パッドの破損					
その他						

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.